

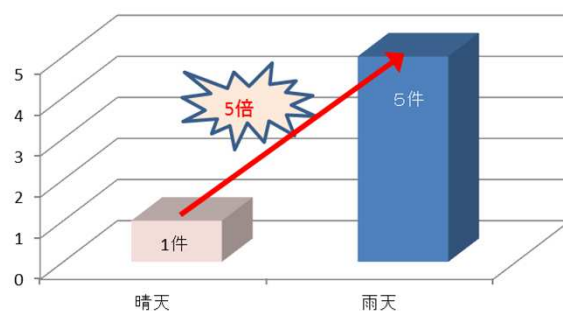
Monthly Report

2017年7月号

特集 雨の季節の 車点検リスト

雨天時の時間当たり事故件数(図参照)は、晴天時の5倍も高くなっています。運転は、認知・判断・操作の繰返しですが判断のための情報は「見ること」がその90%を占めると言われています。雨天時にはこの「見ること」が大きく遮られることから、事故の危険が高まっています。雨を止めることはできないことから、その備えとして日常点検や整備等をしっかり行うことが大事な取組みになります。今回は、雨天に備えた取組みを確認しましょう。

図 1時間当たり事故件数



図出典: 首都高速道路株式会社 首都高ドライバーズサイト
<http://www.shutoko.jp/use/safety/driver/rain/> 2017/5/22閲覧
平成27年統計値を基に当社作成

1. 低下する雨の日の情報量と運転方法



雨が降り始めると、運転環境は一変します。周囲は暗くなり、ワイパーを作動させても視野は狭くなることから、歩行者や自転車あるいは他の車などの発見も遅れがちになります。一方で、歩行者や自転車なども、雨に気を取られ、通行する車に対する注意が低下気味になると考えられます。

雨の日は、速度を落とし、細心の注意を払って走行しましょう。昼間でも自分の存在を知らせるためにヘッドライトをつけて走ることも必要です。ドライバーは状況に合わせ、意識して運転を変えることが大切です。



SOMPO ホールディングス
損保ジャパン日本興亜

2. 雨に備えた車両の点検・整備(雨天用チェックリスト)

雨天時の運転に備え、日ごろから車両の点検・整備を行いましょう。以下の雨天用チェックリストを使い、是非チェックしてみてください。

◆ワイパーブレード

- ・ウォッシャー液を吹きかけ、ワイパーの効果状況を確認します。

- ☐ 拭きむらはないか
- ☐ ビビリ音はしないか

◆ガラス

- ・ウィンドーの外側はもとより、内側が汚れていると、曇りの原因となり、視界が妨げられます。

- ☐ ウィンドーガラスの外側はきれいか
- ☐ ウィンドーガラスの内側はきれいか

◆ヘッドライト

- ・ヘッドライトレンズがくすんだり、白濁していると照射光が少なくなり、若しくは、分散して、有効照射距離が短くなることがあります。

- ☐ くすみ、白濁化はないか



クリアなライト

白濁したライト

◆タイヤ

- ・路面が濡れているとブレーキを踏んでから車が完全停止するまでの距離（制動距離）が長くなり、タイヤが摩耗しているとそれが助長されます。

- ☐ スリップサインが出ていないか



SOMPO ホールディングス
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、
「お・も・い・や・り」のある運転を！
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス（株）一同